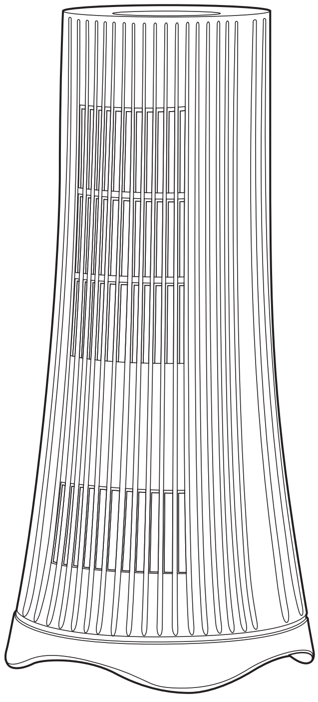
P!ERIA

クールファン　CFDQ-101

取扱説明書・保証書



　このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……………………P1 ～ P2
各部の名称とはたらき……………………P3
正しい使いかた……………………P4 ～ P7
お手入れと保存……………………P7 ～ P9
修理・サービスを依頼する前に……………P9
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について … P10
アフターサービスについて……………裏表紙
保証書……………………………裏表紙

仕　様

電　源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	32W　50/60Hz
電源コード長さ	約 1.7 m
外形寸法	約 幅 21 × 奥行き 21 × 高さ 45.5cm
質　量	約 3 kg（本体のみ・保冷剤含まず）

● 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

4C15A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

（分解禁止）	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
（プラグを抜く）	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

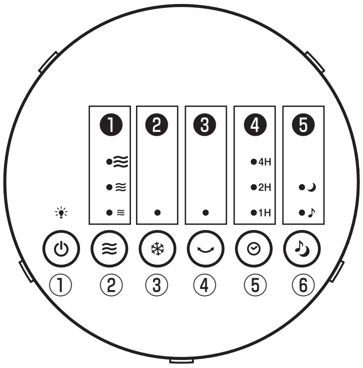
禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。	使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。	プラグを抜く	**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
	吸気フィルターカバー、給水フィルターを取り付けずに運転をしない。 故障の原因になります。		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		**水平な安定したところに設置する。傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。水タンクに水を入れすぎないようにする。** 傾いたところに設置すると、水タンクの水がこぼれたり、転倒して、感電・漏電・火災の原因になります。	水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。				
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	プラグを抜く	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		

⚠注意

<table>
<tr><td rowspan="7">指示</td><td>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。
感電･ショート･電源コードの断線の原因になることがあります。</td><td rowspan="7">禁止</td><td>風をからだに、長い時間続けてあてない。
健康を害することがあります。</td><td rowspan="7">禁止</td><td>髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>吸気口、送風口は、広くあけておくようにする。
障害物･ふさぐものによって吸気されない。送風できない状態になると、本体内に熱を持ち、故障の原因になります。</td><td>ベースを引きずらない。
床が傷つく原因になることがあります。</td><td rowspan="2">次のようなところでは使わない。
●レンジなど炎の近く
●引火性のガスがあるところ
●雨や水しぶきがかかるところ
●高温なところ
●多湿なところ
●直射日光のあたるところ
●屋外
変色･変形･炎の立ち消え･火災･感電の原因になることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クールモード使用時、水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。
古い水のままだと異臭や故障の原因になります。水道水以外を使用すると、水がいたみやすく、異臭の原因になります。クールモードを使用しないときは、水を入れず内部を乾燥させておいてください。</td><td>吸気口、送風口に指などを入れない。
けがの原因になることがあります。</td></tr>
<tr><td>水タンクに、水道水、付属の専用保冷剤以外を入れない。
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。水道水、付属の専用保冷剤以外を入れると、故障の原因となります。</td><td>お手入れの際は住宅用洗剤･シンナー･ベンジン･アルコール･磨き粉などを使わない。
変色･変形･感電･故障の原因になります。</td></tr>
<tr><td>クールモードを使用しないときは水を捨て、十分に乾燥させる。
水を入れておくと水がいたみやすく、異臭や故障の原因になります。</td><td>お湯(40°C以上)は使用しない。
本製品は耐熱性がありませんので、お湯を入れると、故障の原因となります。</td><td>業務用として使用しない。
破損の原因になります。</td></tr>
<tr><td>給水フィルターを正しく取り付ける。
給水フィルターが面ファスナーで正しく取り付けられていないと、送風口･吸気口から水滴が飛び散ることがあります。</td><td>アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損、故障の原因になります。</td><td>ホコリが詰まった状態で使用しない。
熱を持ち、故障や事故の原因になります。</td></tr>
<tr><td>凍結に注意する。
凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を捨てて、給水フィルターを乾燥させてください。</td><td>犬やネコなどのペットのためには使用しない。
ペットが本体や電源コードなどをいためたり転倒させたりして、故障･火災の原因になることがあります。</td><td>(クールモード時)風を直接家具や電化製品などに当てない。
湿度の高い風を当てるため、故障や変色の原因になります。</td></tr>
</table>

各部の名称とはたらき

操作部



① ⏻**電源ボタン**
運転(ムードランプ点灯)／運転(ムードランプ消灯)／停止を切り替えます。
※ムードランプ消灯とともに操作部ランプの減光機能が働きます。

② ≋**風量ボタン**
風量を調節（3 段階）します。

③ ❄**クールボタン**
水を使用してより冷たい風を送り出します（クールモード)。

④ **左右首ふりボタン**
左右首ふりを入切します。

⑤ **切タイマーボタン**
切タイマーを設定します。

⑥ **リズム／おやすみ風ボタン**
リズム風·おやすみ風を設定します。

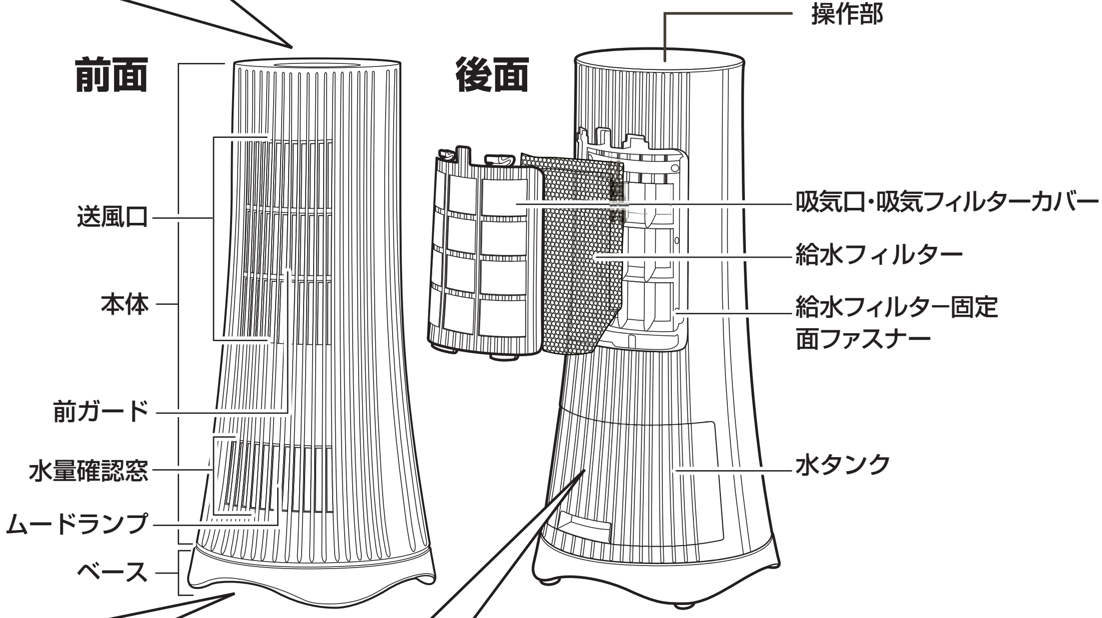
❶ **風量ランプ**
風量の弱・中・強を表示します。

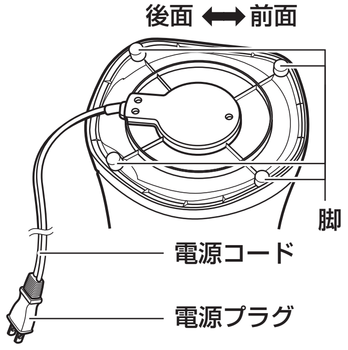
❷ **クールランプ**
クールボタンを押してクールモードが設定されているときに点灯します。

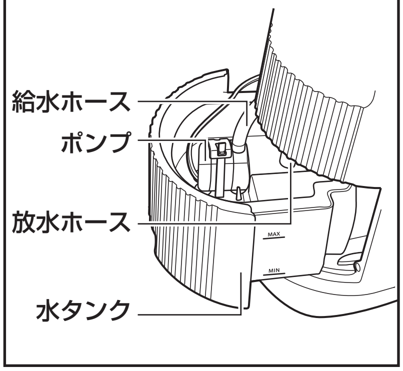
❸ **首ふりランプ**
首ふりボタンを押して首ふりが設定されているときに点灯します。

❹ **切タイマーランプ**
切タイマーを設定したときに点灯し、切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

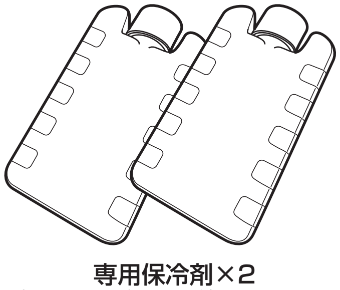
❺ **リズム／おやすみ風ランプ**
リズム風・おやすみ風、設定されている風を表示します。







付属品



専用保冷剤×2
凍らせて1個ずつ使用します。

⚠注意	**脚を電源コードにのせないようにする。** 電源コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。	• **保冷剤のキャップは絶対にはずさない。** • **万が一、保冷剤の内部の液がもれ出たときは十分に洗い流し、体内に入ったときは、すぐに医師の診断を受ける。**

正しい使いかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体... 1 個	専用保冷剤 .... 2 個
給水フィルター（本体内に取付済）.............. 1 個	取扱説明書（保証書含む）............................. 1 個

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

使用前の準備

本体の設置

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

吸気フィルターカバーが壁やカーテンでふさがれないように、十分に周囲との距離をとってください。

2. 吸気フィルターカバーを確認する

吸気フィルターカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。

※吸気フィルターカバーが正しく取り付けられていないと、運転操作ができません。

給水

3. 水タンクに給水する

クールモードを使用しないときは、給水しないでください。

水タンクを 5cm ほど引き出して給水します。

- 水タンクを本体から引き出したときに、ポンプ周りのホースの接続、ポンプの固定具合などを確認してください。
- 給水する水は、水道水をお使いください。また絶対にお湯を入れないでください。
- 水タンクの横から水位が確認できます。水位線を確認しながら給水し、MIN 線と MAX 線の間になるようにしてください。

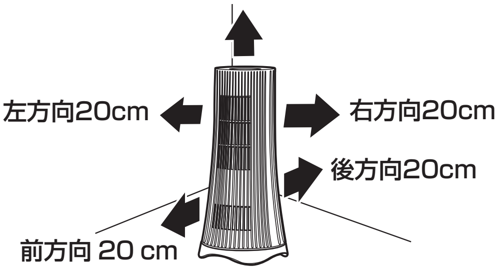
（お手入れなどで）水タンクをすべて引き出すためにはポンプを取りはずす必要があります。
専用保冷剤を使用するときは、水タンク内にセットしてから給水してください。

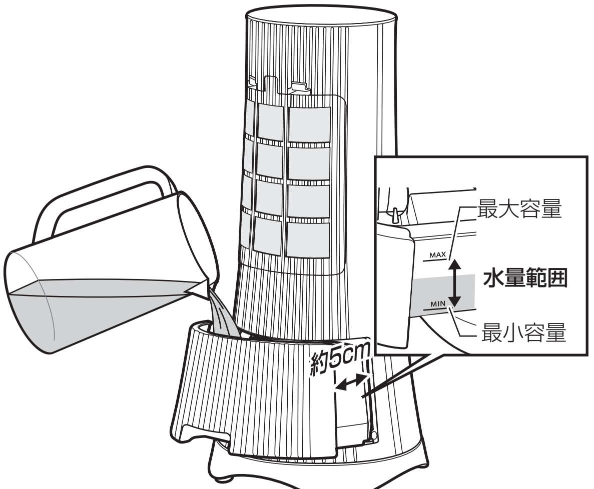
⚠注意	• 給水するときは、水量を MIN 線と MAX 線の間になるようにする。 • 給水するときは電源プラグをコンセントから抜いた状態で行なう。 • 水タンクにお湯、アロマオイルや芳香剤など水道水以外を絶対に入れない。 • 水タンクを引き出しすぎると水がこぼれることがあります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

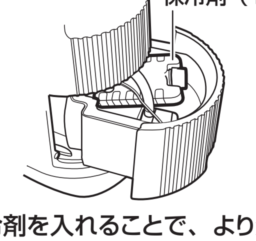
ピピッと音がします。

本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください





保冷剤のセットのしかた



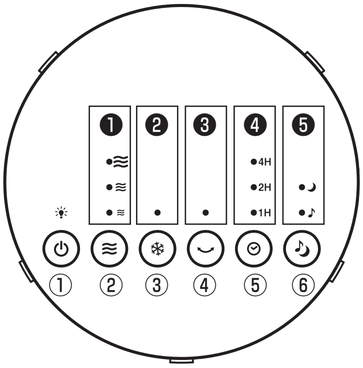
水タンクに保冷剤を入れることで、より涼しい風を送ることができます。
水タンクに、凍らせた保冷剤を1個、入れてください。

※保冷剤の入れかたにより、ムードランプをお楽しみいただけなくなることがあります。

⚠注意	• **専用保冷剤以外は水タンクに入れない。** 故障の原因となります。 • **水タンクに専用保冷剤は 2 個入れない。**

正しい使いかた（つづき）

操作部



① **電源ボタン**
運転（ムードランプ点灯）／運転（ムードランプ消灯）／停止を切り替えます。
※ムードランプ消灯とともに操作部ランプの減光機能が働きます。

② **風量ボタン**
風量を調節（3 段階）します。

③ **クールボタン**
水を使用してより冷たい風を送り出します（クールモード）。

④ **左右首ふりボタン**
左右首ふりを入切します。

⑤ **切タイマーボタン**
切タイマーを設定します。

⑥ **リズム／おやすみ風ボタン**
リズム風･おやすみ風を設定します。

❶ **風量ランプ**
風量の弱・中・強を表示します。

❷ **クールランプ**
クールボタンを押してクールモードが設定されているときに点灯します。

❸ **首ふりランプ**
首ふりボタンを押して首ふりが設定されているときに点灯します。

❹ **切タイマーランプ**
切タイマーを設定したときに点灯し、切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

❺ **リズム／おやすみ風ランプ**
リズム風・おやすみ風、設定されている風を表示します。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

電源ボタンを押すと、水タンク下のムードランプが点灯し、運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふり・クールモードで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に電源ボタンを押したときには、弱風･首ふりなし･クールモード切で運転を開始します。

2. クールモードを開始／停止する

クールボタンを押すと、クールモードが開始します。もう一度押すとクールモードが停止します（→クールモード）。

- クールモードを使用するには、水タンクに給水が必要です。
- 水タンクに水がないとき、水がなくなったときは、「ピピッ」という音が5回鳴り、クールランプが消灯し、クールモードを解除した状態で運転を続けます。給水後もクールボタンを押さないとクールモードは再開しません。

※構造上、水タンクの水をすべて吸い上げることができないため、クールランプが消灯しても多少の水は残ります。

⚠注意	**吸気フィルターカバー・給水フィルターを取り付けずに運転しない。** クールモードを使用しないときでも、給水フィルターを取り付けて運転してください。故障の原因になります。

減光モード

ムードランプや表示ランプがまぶしいときに、電源ボタンをもう一度押すと、減光モードに設定することができます。

→運転(通常)→運転(減光モード)→電源切→

［減光モード］ムードランプ：消灯、各種ランプ：暗

メモリー機能

電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量・首ふり・クールモード）。

※電源プラグをコンセントから抜くと、初期設定にリセットされます。

［初期設定］風量:弱風、首ふり:なし、クールモード:切

水が飛び散ることがあります

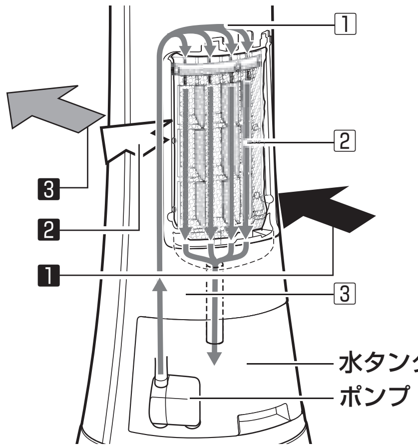
運転開始直後、水が給水フィルターに浸透するまでに送風口や吸気口から水が飛び散ることがあります。
給水フィルターが面ファスナーで正しく取り付けられていないと、送風口・吸気口から水滴が飛び散ることがあります。

クールモードのしくみ

本機は水を使用して、まわりの温度よりも冷たい風を出す「クールモード」を搭載しています。

- 給水フィルターを湿らせて、風を通すと、水が蒸発するときに熱を奪う気化熱の作用により、風の温度が下がります。
- 水タンクに保冷剤を入れることにより、さらに風の温度を下げることができます。
- 気化熱の作用で温度を下げるため、湿度が高い状態では、効果が低くなります。

簡易型の加湿器として使用することもできます。



水の流れ

1 水タンクの水をポンプで汲み上げ、給水フィルターの上で水を放出する。
2 給水フィルターに水をしたたらせる。
3 給水フィルターの下で水を回収し、水タンクに水を戻す。

風の流れ

❶吸気口･吸気フィルターカバーを通して室温の風を取り込む（風のゴミ･ホコリなどを取り除く）。
❷給水フィルターを通りぬけるとき、**水の蒸発によって気化熱が奪われて風の温度が下がる。**
❸ファンによって温度の下がった風を前面に送る。

3. 風量を調節する

≋風量ボタンを押すことで風量を３段階（弱風・中風・強風）に調節することができます。

→ ≋（弱風）→ ≋（中風）→ ≋（強風）→（弱風へ戻る）

- 風量は風量ランプで確認できます。

4. リズム／おやすみ風機能を作動させる

♪リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。

※ 設定されたリズム／おやすみ風ランプが点灯します。

→ ♪リズム風 → ☽おやすみ風 → ランプ消灯（解除）→（リズム風へ戻る）

5. 首ふり運転を開始／停止する

首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと首ふり運転を停止します。本機の首ふり運転は、ベースより上が左右に約80度動きます。

※ 本機は手動で角度を調節することができません。首ふりボタンで左右の角度調節をして、適切な風向きにしてください。

⚠注意	**手動で角度調節をしない。** 無理に角度調節をすると、故障の原因になります。

リズム／おやすみ風について

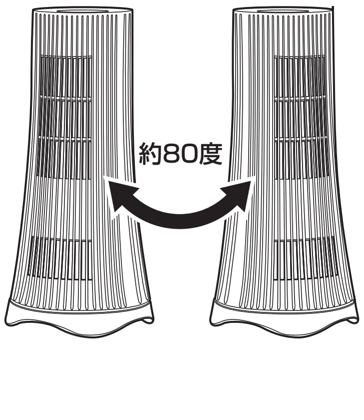
リズム風（♪リズム風ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
≋風量ボタンで風量を切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風（☽おやすみ風ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
≋風量ボタンで風量を切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

（≋強風時）　強リズム風　→　中リズム風　→　弱リズム風　と時間とともに変化します。
（≋中風時）　中リズム風　→　弱リズム風　と時間とともに変化します。
（≋弱風時）　弱リズム風　と同じです。



正しい使いかた（つづき）

6. 切タイマーを設定する

◎切タイマーボタンを押すと、切タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長４時間まで設定できます。

※ 切タイマーをキャンセルするには、◎切タイマーボタンを切タイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

7. 運転を停止する

⏻電源ボタンを2度（ムードランプが消えているときは1度）押して運転を停止させてください。

切り忘れ防止機能
最後に操作してから12時間経過すると、運転を自動的に停止します。

⚠**警告**	**吸気フィルターカバー、給水フィルターを取りはずすときは、ファンが完全に止まったことを確認してから行なう。** けがや故障の原因となります。

8. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠**警告**	**使用後は、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。

切タイマーランプについて

切タイマーランプは、◎切タイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。

※ 切タイマーをキャンセルするには、◎切タイマーボタンを切タイマーランプが消灯するまで、何度か押します。

切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに切タイマーランプが移り変わり、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

お手入れと保存

⚠**警告**	• **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になります。 • **吸気フィルターカバー、給水フィルターを取りはずすときは、ファンが完全に止まったことを確認してから行なう。** 感電・火災・けがの原因になります。

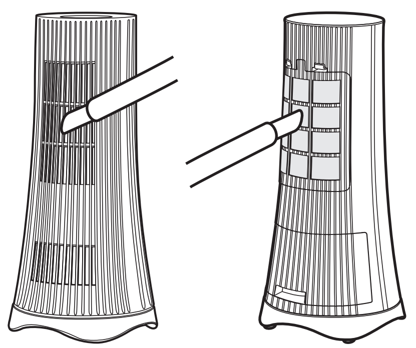
お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

送風口と吸気口（クールモードを使っていないときは吸気口内部まで）についたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機で取り除いてください。



水まわり（クールモード関連）のお手入れ

クールモードを十分に活用するため、定期的にお手入れをしてください。

給水フィルター

1 か月に 1 回、またはクールモードを長期使用しないときや、長期保存前、以下のようなお手入れを行なってください。

①吸気フィルターカバーの上のふたつのツマミを下に押して取りはずします。
②本体をしっかり押さえて、面ファスナーで取り付けられている給水フィルターを上から引きはがします。
③取りはずした給水フィルターを水でもみ洗いします。汚れのひどいときは洗濯用洗剤に数分間浸し、もみ洗いで汚れを落とし、十分に水ですすいだあと、天日干しで乾燥させてください。
④給水フィルターの取り付けられていた、本体側もきれいにしてください。
⑤給水フィルターを本体に取り付けます。面ファスナーの有無で表裏を確認して、面ファスナーのある面を本体側にして本体に取り付けてください。
⑥吸気フィルターカバーを取り付けます。

※ 長期保存前は、内部を十分に乾燥させるために、クールモード：切、風量：強風　で 1 ～2時間、運転をしてください。

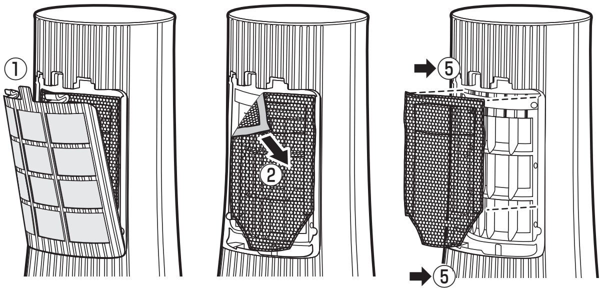
※ 交換用給水フィルターは別売しています。
CFT-LA01　1 枚 1500 円（税抜）お買上げの販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

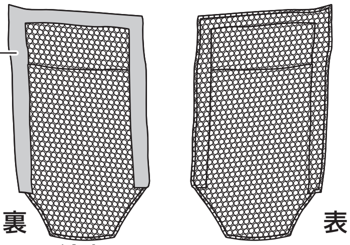
水タンク

使用しないときは水を捨ててお手入れし、乾燥させておきます。
使用しているときは 1 ～ 2 週間に一度、下の手順で水タンクを取り出して、台所用中性洗剤で洗ってください。長期保存前はお手入れ後、十分に乾燥させてください。

①水タンクにはポンプが固定されているので、取りはずします。
ポンプの横にあるポンプカバー固定柱の上部を（右図の）矢印の方向に押し❶、ポンプカバーを上に上げ❷、ポンプを取りはずします。
※ポンプを取りはずすときは、給水ホースを持たずに、ポンプを真上に持ち上げるようにして取りはずしてください。斜めに持ち上げると、ポンプの底面の吸盤がポンプからはずれることがあります。

⚠警告	**吸気フィルターカバー、給水フィルターを取りはずすときは、ファンが完全に止まったことを確認してから行なう。** けがや故障の原因となります。

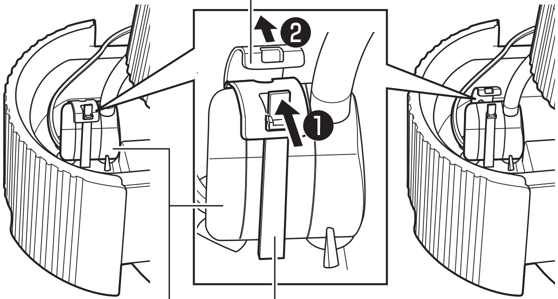




給水フィルター

ポンプをはずすときは真上に持ち上げてください

持ち上げるときは、ポンプを持ち、
給水ホースを引っ張らないでください。



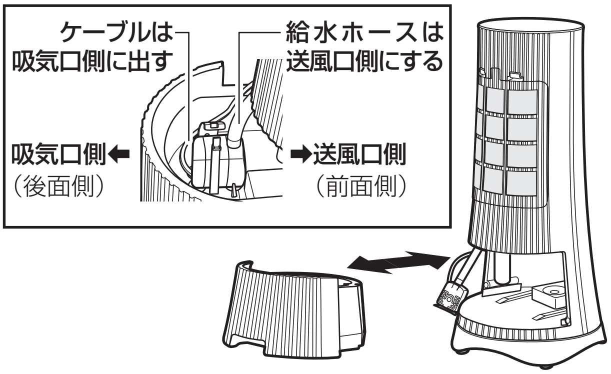
⚠注意	• **給水ホースとポンプをとめている部品は、絶対にはずさない。** • **水タンクを引き出すときは、タオルなどを準備して本体や床が濡れないようにする。** 給水ホースやポンプなどから内部の水滴などが落ちるため、本体や床が濡れないように準備してください。

▶▶つぎのページにつづく▶▶

お手入れと保存（つづき）

②ポンプをはずした水タンクを、慎重に引き出してください。
③取り付けるときは、逆の手順で取り付けます。ポンプを所定の位置に置き、ポンプカバーを上からはめ込みます。
放水ホースを水タンクに確実に入れ、コード類を水タンクにはさまないように注意して水タンクを元に戻します。

⚠注意	**ポンプの向きを間違えないように注意する。** ポンプから給水ホースをはずさず、ケーブルは吸気口側（後面側）、給水ホースは送風口側（前面側）にします。



そのほか

吸気口の下には給水フィルターをしたたり落ちてきた水を受ける部分があります。ここに異物がたまると、そのまま水タンクに戻るためきれいにしておきます。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱に入れるとき、前もって首ふり機能で正面を向くように調節しておくことが必要です。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	**修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。**

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
運転しない	・電源プラグがコンセントからはずれている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む
	・⏻電源ボタンが押されていない	⏻電源ボタンを押して運転を開始させる
	・吸気フィルターカバーがしっかりと取り付けられていない	吸気フィルターカバーを確実に取り付ける
風が出ない・弱い	・吸気口がふさがれている	吸気口をふさいでいるものを取り除く
	・給水フィルターが汚れている	給水フィルターをお手入れする
クールモードを使っても風が冷たくならない	・まわりの湿度が高い	湿度が高いと冷たく感じにくくなります
	・給水フィルターが取り付けられていない	給水フィルターを取り付ける
	・水タンクに水が入っていない	水タンクに水を入れる
手動で角度を調節できない	・本機は、手動で角度調節をすることができません	首ふり機能を使って角度調節をする
突然運転が止まった	・運転を始めてから長時間経過している（切り忘れ防止機能により電源が切れた）	電源ボタンを押して、運転を開始させる

長年ご使用のクールファンはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

▶ このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火･けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります）
[設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。